

P2-6

院内がん登録データから見たAYA世代がん患者の特徴

阿部 真由子⁽¹⁾、布施 里保⁽¹⁾、
牧野 吉展⁽¹⁾、町村 知美⁽¹⁾、内藤 那津子⁽¹⁾、甲賀 麻友美⁽¹⁾、
湯浅 早貴⁽¹⁾、栗城 清夏⁽¹⁾、川崎 健一⁽¹⁾、鈴木 一洋⁽¹⁾、小口 正彦⁽¹⁾

公益財団法人がん研究会 有明病院 ⁽¹⁾診療情報管理室

【背景・目的】

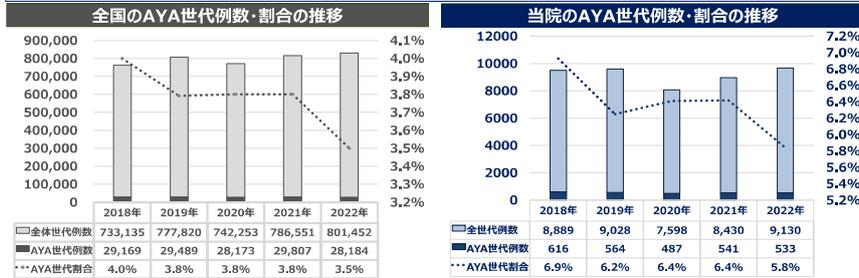
AYA世代のがん患者は、がん治療受診、就学・就業・結婚・出産など重要なライフイベントが重なるので、特に配慮を要する場合がある。当院のAYA世代の院内がん登録状況を調査し、今後のAYA世代支援活動に資する基礎資料を作成した。

【方法】

対象は、2018年～2022年における当院の院内がん登録データである。対照として院内がん登録全国集計結果閲覧システム(がん診療連携拠点病院等)データを用いて、AYA群と非AYA群の患者の特徴について相違を比較検討した。群間の有意差はカイ二乗検定を用いた。

定義 AYA群：診断時年齢が15-39歳 非AYA群：診断時年齢が40歳以上

【結果】



【5年間総計】

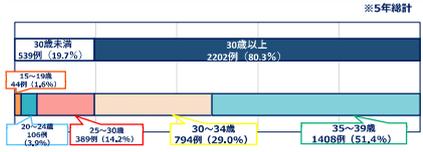
全世代例数	: 3,841,211例
AYA世代例数	: 144,822例
AYA世代割合	: 3.8%

【5年間総計】

全世代例数	: 43,075例
AYA世代例数	: 2,741例
AYA世代割合	: 6.4%

当院のAYA世代がん登録数が全登録数に占める割合は6.4%であり、院内がん登録全国集計報告書の3.8%よりも高かった。AYA世代人口が多い首都圏の病院であるためと推定される。人口高齢化の影響を受け、5年間で減少傾向であった。新型コロナウイルス感染症の影響は明らかではなかった。

当院のAYA世代診断時年齢別例数 (割合)



当院のAYA世代男女例数 (割合)



診断時年齢別例数 (以下5年総計) は、AYA世代では、30歳未満：19.7%、30歳以上：80.3%と、30歳以上が8割を占めていた。AYA世代がん患者の男女比は5年全体で1：4と女性が多かった。

当院AYA世代の部位別登録例数 (上位5部位)



当院AYA世代の高割合部位 (上位5部位)



当院部位別AYA世代がん登録例数
当院においては子宮頸部、乳房、大腸、胃、骨軟部順に登録例数が多かった。当院は非AYA群においても子宮頸部・乳房が多い特徴がある。

当院AYA世代の高割合部位

AYA世代の部位別割合を見ると、従来の学術報告と同様の結果であった。部位別に割合が高い順に全国データと比較 (当院vs全国) すると、精巣 (56.3%vs公表無)、子宮頸部 (34.9%vs35.4%)、上咽頭 (22.0%vs公表無)、骨軟部 (18.3%vs14.3%)、甲状腺 (14.2%vs13.3%) であった。特に精巣もAYA世代の割合が高く、過半数を占めていた。

当院AYA世代の部位別割合推移

部位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
子宮頸部	36.8%	36.9%	34.1%	32.4%	33.8%
乳房	8.7%	7.1%	8.5%	8.4%	9.2%
大腸	3.7%	3.7%	5.3%	4.3%	3.7%
胃	3.1%	3.1%	2.5%	3.4%	2.7%

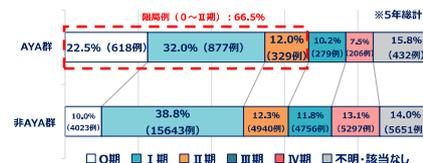
当院AYA世代の高割合部位 (上位5部位)



部位別AYA世代がん割合の年間推移

子宮頸部については、全国データと同様にAYA世代の割合が高かったが、5年間で減少傾向にあった。乳癌は5年間にわずかに増加していた。大腸は2020年に割合が増加しその後減少傾向であった。胃は大きく変化はなかった。

当院AYA群・非AYA群総合病期比較



当院AYA群・非AYA群発見経緯比較

発見経緯	AYA群		非AYA群	
	例数	割合	例数	割合
8:その他	1258	45.9%	14980	37.2%
1:がん検診・健診等	701	25.6%	9570	23.7%
3:他疾患経過観察	585	21.3%	13007	32.3%
9:不明	197	7.2%	2753	6.8%

総合病期
0期～II期までの早期期の割合は、AYA群が66.5%であり、非AYA群の61.0%より、5.5%と高い傾向であった (p<0.01)。
AYA群はIII期～IV期の進行例が少ない。

発見経緯
全体では、8.自覚症状を含むその他の発見割合が最多であったが、AYA群 (45.9%) は非AYA群 (37.2%) より有意に高かった (p<0.01)。
3.他疾患経過観察中の発見割合は、AYA群で21.3%であり、非AYA群の32.3%より 11.0%ほど低かった。

【結論】

- 1 当院のAYA世代がん患者が全登録数に占める割合は、全国データと比較して高い。
- 2 院内がん登録数のAYA世代割合は5年間に減少傾向であった。
- 3 発見経緯は自覚症状を含むその他の割合が45.9%と高かった。
- 4 総合病期が0-II期の早期例が66.5%と半数以上を占めた。
- 5 全国データ同様に30歳代女性が占める割合が高く、部位別には子宮頸部、乳房が多数を占めた。

本データをもとにAYA世代に対する啓発支援活動を行なっていく予定である。

公益財団法人がん研究会 有明病院

日本がん登録協議会 第33回学術集会
COI開示
筆頭演者名: 阿部 真由子
当演題発表に関し、開示すべきCOIはありません。

